

Plan

事業名	廃棄物処分場管理運営事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4 款	2 項		1 目	事業1	144	事業2	286
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-②資源循環型社会を構築する			
事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市民生活により排出される廃棄物を安定的に埋立て処分する。(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条の2)								
事業の概要	笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場に係る施設の一般維持管理(浸出水水質検査、分別推進、再資源化、廃棄物発生抑制)及び車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施。								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	・笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場の浸出水等の水質検査	2,533	0
	・笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場の一般維持管理(浸出水処理施設の運転、車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施)	26,022	0
	・笠子廃棄物処分場の借地購入(用地取得)	34,231	0
	・笠子廃棄物処分場の浸出水処理施設の長寿命化工事発注仕様書の作成	3,207	0
	・笠子廃棄物処分場の拡張構想の策定及びそれに係る調査	9,759	0
	その他		
	合計	75,752	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	拡大	施設及び管理車両の法定点検等維持管理、処理水等の法定基準値を遵守した維持管理は必要であり、老朽化する設備の改修に予算等の投入が必要。また、環境センターの再稼働に伴い、焼却灰の埋立量が増加するため、処分場の拡張に係る費用、又は外部委託処理費用の追加投入が必要。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
・笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場の浸出水等の水質検査			
・笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場の一般維持管理(浸出水処理施設の運転、車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施)			
・笠子廃棄物処分場の借地購入(用地取得)			
・笠子廃棄物処分場の浸出水処理施設の長寿命化工事			
3か年の合計事業費	234,599		

Plan

事業名	廃棄物対策事業			事業類型	法定(裁量含む)	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4 款	2 項	1 目		事業1	145	事業2	292
担当部署	部	環境部		課		廃棄物対策課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		基本計画		4-②資源循環型社会を構築する			
事業の目的	家庭系一般廃棄物を適正に収集し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。								
事業の概要	可燃ごみ、不燃ごみ、資源物などの家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託。指定ごみ袋の作製。浜松市への可燃ごみ委託の実施。その他資源物をリサイクルするとともに、ごみの分別・減量や不法投棄防止等の啓発を実施。								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	家庭系一般廃棄物の収集運搬		266,652	0
	草木破袋等選別業務の委託		18,533	489
	浜松市へ可燃ごみの処理委託		315,098	106
	指定ごみ袋の作成		31,664	49,295
	その他		52,681	6,097
	合計			684,628

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
	可燃ごみの年間処理量(t)				13,130	13,280	13,407	13,240
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性	A	環境への負荷を減らすため、ごみの減量と分別徹底の取り組みは必須である。					
	有効性	A	焼却施設の再稼働までは現在の取り組みを継続し、更なるごみの減量を行っていく。					
効率性	B	効果的なリサイクルを維持しつつ、焼却施設の再稼働に向けて分別方法の見直しの検討を行う。今後、事業系ごみの排出ルールを徹底を強化していく。						

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	事業内容、実施方法ともに現行方法を維持するとともに、ごみ減量のための各種分別方法の徹底、指導、PRを推進していく。なお、令和5年度中の焼却施設の再稼働を見据え、ごみの分別方法を見直すため、効率的な方法を検討していく。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
家庭系一般廃棄物の収集運搬	▶▶▶		
草木破袋等選別業務の委託	▶▶▶		
浜松市へ可燃ごみの処理委託	▶▶▶		
指定ごみ袋の作成	▶▶▶		
3か年の合計事業費	2,126,191		

Plan

事業名	ごみ処理管理運営費			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4 款	2 項		1 目	事業1	146	事業2	298
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-②資源循環型社会を構築する			
事業の目的	法規定に基づく維持管理基準を遵守し資源循環型社会を実現するため、資源の有効な利用の確保を図る。(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条の2)								
事業の概要	環境センターリサイクルプラザの管理及び運営を行うとともに、環境センターで処理した可燃ごみ等の運搬のための車両の管理を行う。								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	環境センター施設(車両含む)管理業務	288,125	61,654
	旧環境センター解体関連業務	1,374	390
	環境センター焼却炉再稼働業務	18,360	4,400
	その他		
	合計	307,859	66,444

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	維持	環境センター施設管理については、再稼働後の令和6年2月の稼働より事業費が拡大する。旧環境センター解体関連業務については、解体工事を実施する令和2年度、令和3年度において事業費が拡大する。再稼働事業に関しては、再稼働工事を実施する令和3年度～令和6年度において事業費が拡大する。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
環境センター施設(車両含む)管理業務	▶▶▶		
旧環境センター解体関連業務	▶▶▶		
環境センター焼却炉再稼働業務	▶▶▶		
3か年の合計事業費	2,463,101		